

ズバリ 市政を問う

本定例会での一般質問は、12月10日から11日までの2日間で行われ、9人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。掲載は質問順としています。



地域包括ケア実現に向け「地域包括支援センター」の役割が一層高まる

地域包括支援センターの強化は

矢加部 茂晴 議員

答 中核的な機関であり職員体制の充実強化を行う

問 来年4月施行の介護保険制度改正では、地域包括支援センターの役割が一層高まると思う。その強化についての見解は。

市長 地域包括ケア実現に向けた中核的な機関となるので、今後、職員体制等の充実強化を行いながら、地域包括ケアシス

テムの構築を図っていく。

問 要支援者向けの介護給付サービスのうち、訪問介護と通所介護が市町村の地域支援事業に移行するが、その対応は。

市長 実施に向けた課題があるが、平成29年4月開始に向けて、移行の猶予期間2年の中で、筑後

市の実情に応じた地域支援事業となるように取り組んでいきたい。

地域包括支援センター長

移行するに当たった課題としては、ボランティアやNPO等多様な実施主体への働きかけ、生活支援者の担い手の育成やサービスの開発や事務量の増大等が挙げられる。

生活支援者の担い手育成には研修が必要

問 ボランティアであっても法令遵守も含め研修が必要だと思うが。

地域包括支援センター長 事業を受けられる人は、事前に研修を受けていただき、研修を受けた人を登録して実施をしていくことになると思う。